

ITマネージャー サイト立ち上げ 防犯カメラ選び 手ほどき

システム開発やインターネットサイトの運営などを手がけるITマネージャー（東京都中野区）は、防犯カメラの種類・特徴などの基礎知識から最新の施工会社など、防犯カメラに関する情報を網羅したウェブサイト「防犯カメラの取付.jp」を立ち上げた。防犯カメラに特化

したサイトは珍しい。安全な社会を構築するうえで、防犯カメラをはじめとしたセキュリティシステムが果たす役割が大きくなっている。それだけに防犯カメラなどへの関心も高まり、総合的な情報発信の必要性が指摘されていた。現在、簡易型の監視カメラな

どは大型家電量販店でも購入できるが、一般消費者には取り付け個所の選定は難しく、防犯効果を高めるには専門家に依頼する必要がある。

こうした防犯カメラへの理解を促す意味からも、専用サイトを設けた。

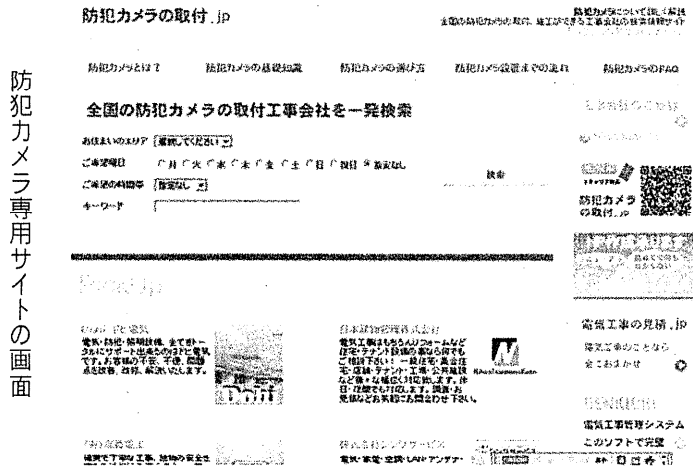
同サイトでは防犯カメラの基礎知識、目的や設置場所に応じた選び方などを解説。これに加え、利用者が自宅の住所や郵便番号を入力するだけで、最寄り

の施工会社を示す機能も備えている。その会社への程度の見積もり依頼を出すこともできる。見積もりを申し込むと、メールなどで施工会社から連絡がくる仕組み。

サイト登録の施工会社は北海道から沖縄県まで47都道府県の約120社でスタートしたが、今年度中にサイトの認知度を高め、1000社超に拡大する計画。「防犯カメラの取付.jp」の

アドレスはパソコン用がhttp://www.securitycamera.jp/、携帯電話用がhttp://www.securitycamera.jp/mobile。

ITマネージャーは1996年10月に設立。エアコンクリーニングやアンテナ取り付けなど各種工事（約20種類）の施工会社、施工費を検索できる「電気工事の見積.jp」（http://www.denkikoji.jp）の運営などで知られる。



防犯カメラ専用サイトの画面

バー感覚で利用 割安点滴を提供

■さくらクリニック
さくらクリニック（東京都豊島区）は、疲労回復などに効果がある点滴をもっと気軽に利用してもらおうと、通常よりも料金が安い2つのプログラムを用意した。6月末まで利用でき

る。同クリニックでは気軽にバーやカフェにくるような感覚で点滴を利用してもらうため「点滴バー」と名付けて、それぞれの目的に応じて点滴を施している。月末までの期間限定で用意したのは「カラダ疲れ解決専科！」と「肌疲れ解決専科！」の2種類。いずれも料金は9000円（通常約1万5000円）。

「カラダ疲れ」は主にビジネスマンなどが対象で、点滴に用いる成分はビタミンB群、ミネラル類、各種アミノ酸など。「肌疲れ」は主に肌の疲れで悩む女性向けで、成分は各種ビタミンなど。点滴は健康保険が適用されないが、サプリメントに比べ即効性などがあるとして、人気が高まっている。

大学発ベンチャー

東京電機大学 → ダイマジック

携帯電話のメモリーに入った音楽を再生すると、ごく小さなスピーカーから音が出ているにもかかわらず、前方に加えて背後からも音が聞こえるように感じられる。いわゆるサラウンドと呼ばれる音響効果によって、こうした臨場感あふれる音づくりが可能になる。

東京電機大学発のベンチャー企業、ダイマジックも音響技術を手がける一社で、携帯電話には「EUPHONY MOBILE SURROUND（ユーフォニー モバイル サラウンド）」と呼ばれる技術が使われている。

ダイマジックは、一般消費者にとって最も身近な携帯電話からAV（音響・映像）機器などの家庭用機器、さらには音作りのプロ用機器まで、さまざまな音響技術を提供する。

すでにヤマハ、KDDI、全日本空輸（ANA）といった大手企業に技術が採用されている。それだけでなく、自社ブランドの音響機器の開発・販売などまで手がけている。

「音響技術の研究に携わってもう30年くらいになる」

東京電機大学教授も務める浜田晴夫社長は、こう振り返る。

浜田社長は、音響技術の研究一筋に大学で多くの企業との間で共同研究や委託

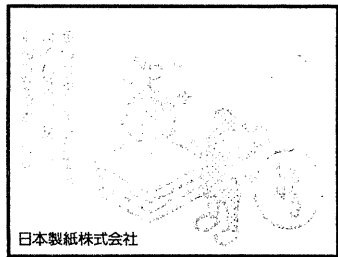
ダイマジックの独自ブランド「KEPLER」のスピーカー（DK-SBR510型）。携帯電話やパソコンと接続してサラウンドを楽しむ



研究に取り組んできた。

その中でも英国のサウサンプトン大学と進めた3次元（3D）サラウンド技術の研究成果が高く評価され、普及に向けて企業としての受け皿を作る必要に迫られたことがダイマジックを起業する大きなきっかけとなった。

この音響効果の基盤となったのは「ステレオダイポール」と呼ばれる仮想音源



日本製紙株式会社

仮想音源 小さくても臨場感

技術。2個のスピーカーをリスナーの正面に近接して配置し、リスナーの耳の位置へ正確に音波を到達させることで、クリアな音を形成できるというものだ。映画などでリスナーの周囲に多くのスピーカーを配置したサラウンド再生を2つのスピーカーで実現する。


実際には波形や周波数などを工夫して、耳へ到達する音波の一部を打ち消したりして、背面から音が出ているように感じさせている。背面にスピーカーがないのに音が出ているように感じるので仮想音源技術と呼ばれる。

携帯電話や多くのモバイル機器に要求

されるコンパクトな再生装置にはうってつけのものだ。浜田社長は「音は、最終的には人間の脳が、どうとらえるかという点に行き着く。同じ音でも、その時の気分によっても感じ方は変わる。音の研究は人間の脳まで考慮しなければならぬ奥深い分野」と説明する。

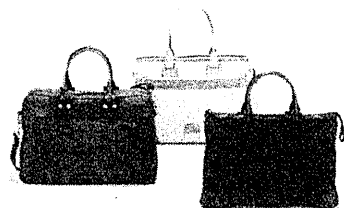
その音を極めるため「音源、伝送・圧縮、信号処理、スピーカーなど音に関するトータルの研究、技術開発が必要になる。音を発するスピーカーの素材などの材料まで考える必要がある」と無限の可能性を秘める音の世界の追求はやまない。（佐藤哲夫）

＜会社概要＞

- ▷設立＝1999年6月
- ▷代表取締役社長＝ 浜田晴夫・東京電機大学教授
- ▷本社＝東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル (03・5297・3838)
- ▷資本金＝4億2729万5000円 (2009年4月末)
- ▷社員数＝29人(同)
- ▷事業内容＝音響機器、デジタル信号処理機器、3Dオーディオシステムの研究、開発、製造、販売、コンサルティングなど。

中小企業ホットライン

日本最大のかばんの産地、兵庫県豊岡市は柳ごうりをルーツに1000年の伝統があるという。特に「地域ブランド」に登録認定されている「豊岡鞆」はデザイン、素材、縫製などで厳しい基準をクリアした優良品で構成されている。その最新ブランド「MARIO NETTE JOHNSON」＝写真の展示商談会が6月9日から3日間、東京・表参道の「Rin」3階のイ



ベントスペースで開かれる。

豊岡鞆は円高や海外への生産移管などさまざまな危機に見舞われるなか、

最新の「豊岡鞆」表参道で展示商談会

品質やデザイン重視の商品開発を徹底。併せて各種展示会・イベントへの出展、最近ではデザイナーとの交流やウェブの活用などで活路を切り開いてきた。熟練職人の入念な仕事による優れた品質は、ネット登録による永久保証に表れている。今回はバイヤー向け展示商談会で、秋冬NEWコレクションも含め8シリーズのバッグなどが披

露される。会場のRinは地域資源テストマーケティングショップとして昨年4月にオープン。1年間で7万人以上が訪れ、扱う商品は2.7倍の1600アイテムに増加し、新たにオンラインショッピングも始めた。詳しくはHP (http://rin.smrj.go.jp/) で。 (独立行政法人中小企業基盤整備機構)